

改訂日 2013年10月11日 (第13版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ゲザプリム®フロアブル (アトラジン水和剤、GESAPRIM SC)
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1047
FAX番号	03-6221-1050
緊急連絡先	同上

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分5	
	急性毒性(経皮)	区分外	
	皮膚腐食性/刺激性	区分外	
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分外	
	皮膚感作性	区分外	
	生殖毒性	区分1B	
	特定標的臓器/全身毒性(単回曝露)	区分1	
	特定標的臓器/全身毒性(反復曝露)	区分1	
	環境に対する有害性:	急性水生毒性	区分1
		慢性水生毒性	区分1

* 記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	飲み込むと有害のおそれ 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 長期または反復曝露による臓器の障害のおそれ 水生生物に非常に強い毒性 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性
注意書き:	【安全対策】

指定された個人用保護具を使用する。
 使用前にラベルをよく読む。
 ミストを吸入しない。
 取扱い後は手や顔等の露出部をよく洗う。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
 必要な時以外は、環境への放出を避ける。

【応急措置】

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受ける。
 漏出物を回収する。

【保管】

施錠して保管する。

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国／地域情報

—

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物
 化学名【一般名】 2-クロロ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ- s-トリアジン 【一般名：アトラジン】

成分	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号	CAS No.
アトラジン	45.0	C ₈ H ₁₄ ClN ₅	5-3851	1912-24-9
水、有機溶媒、界面活性剤等	55.0	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類を脱ぎ、付着又は接触部を多量の水と石けんで洗う。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受ける。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯する。
 眼に入った場合： 直ちに清浄な流水で 15 分間以上洗浄する。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗う。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受ける。
 飲み込んだ場合： 無理に吐かせないで直ちに医師の手当を受けさせる。可能であれば容器、ラベル又はこのデータシートを医師に示す。
 医療関係者への情報： 特定の解毒剤はない。対症療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時: 噴霧放水、耐アルコール性泡、粉末、炭酸ガス 大規模火災時: 耐アルコール性泡
使ってはならない消火剤	棒状放水
特定の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。 汚染された消火水を排水路や河川等に流入させてはならない。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。 危険でなければ漏れを止める。
除去方法	土砂など不燃性の吸収材で漏出物を吸収し、密封できる廃棄物用容器に回収する。回収後、汚染部を水で洗浄する。
二次災害の防止策	風下の人を退避させ、漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・吸い込んだり、眼や皮膚に触れたりしないよう、適切な保護具を着用する。 ・作業は換気のよい場所で行う。 ・製品の飛散、漏出等がないようにする。 ・ラベルをよく読んでから、保管・使用する。
保管	<ul style="list-style-type: none"> ・容器を密閉して換気のよい冷暗所で保管する。 ・小児の手の届く所には置かない。 ・食品や飼料と区別して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱い時にはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 ・取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。
管理濃度	TWA 値 (シンジエンタ社) 設定されていない。
許容濃度	日本産業衛生学会 設定されていない。
	ACGIH TWA 値 アトラジン 5 mg/m ³ (8hr)

保護具	呼吸器用の保護具	防護マスク
	手の保護具	不浸透性手袋
	目の保護具	ゴーグル型保護眼鏡、保護面
	皮膚及び身体の保護具	耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等

9. 物理的及び化学的性質

形状	水和性粘稠懸濁液体	
色	類白色	
pH	6.98 (20%水懸濁液)	
比重	1.10 (20°C)	
オクタノール／水分配係数	アトラジン	log Pow = 2.5±0.1 (25°C)

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
反応性	通常の条件下では安定。
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 燃焼や熱分解により毒性、刺激性のガスを生ずる恐れがある。

11. 有害性情報

急性経口毒性 LD ₅₀ *1	ラット	2152 mg/kg (♂) 3345 mg/kg (♀)	GHS 分類: 区分 5
急性経皮毒性 LD ₅₀ *1	ラット	>2000 mg/kg (♂, ♀)	GHS 分類: 区分外
皮膚刺激性 *1	ウサギ	軽度の刺激性あり	GHS 分類: 区分外
眼刺激性 *1	ウサギ	刺激性なし	GHS 分類: 区分外
皮膚感作性 *1	モルモット	感作性なし	GHS 分類: 区分外

(*1:アトラジン 50%水和剤に関する試験結果)

慢性毒性	アトラジンは動物実験で発ガン性、催奇形性、変異原性を示さなかった。
生殖毒性	区分 1B に分類されるエチレングリコールをカットオフ値の 0.1%以上含有するので区分 1B とした。
特定標的臓器／全身毒性(単回曝露)	区分 1 に分類されるエチレングリコールをカットオフ値の 1.0%以上含有するので区分 1 とした。
特定標的臓器／全身毒性(反復曝露)	区分 1 に分類されるエチレングリコールをカットオフ値の 1.0%以上含有するので区分 1 とした。

12. 環境影響情報

生態毒性:

水産動植物への影響	コイ LC ₅₀ (96hr)	67 mg/L	GHS 分類: 区分 3
	オオミジンコ EC ₅₀ (48hr)	60 mg/L	GHS 分類: 区分 3
	藻類 ErC ₅₀ (72hr)	0.11 mg/L	GHS 分類: 区分 1

13. 廃棄上の注意

注意事項	<p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。</p> <p>空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。</p>
------	---

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連分類	クラス 9
国連番号	3082
品名	Environmentally Hazardous Substance, Liquid, N.O.S. (Atrazine) 環境有害性物質(液体)、N.O.S. (アトラジン)
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
輸送時の安全対策	運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 22137 号
労働安全衛生法	法第 57 条の 2 通知対象物質 アトラジン 法第 57 条の 2 通知対象物質 エチレングリコール(5%)
PRTR法	第一種指定化学物質 アトラジン 第一種指定化学物質 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩(2.5%)

16. その他の情報

記載内容の取扱い 製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジエンタは責任を負いません。

問合せ先 担当部門 電話番号
 HSEグループ 03-6221-1047
 サプライチェーン 03-6221-3805

中毒の緊急問合せ先 財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999

「ゲザプリム」はシンジエンタ社の登録商標です。